

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人及び
特別口座の
口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
(当社のホームページに掲載いたします。)
(<https://www.maruo-cal.co.jp/>)
但し、電子公告によることができない事故、その他の
やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

単元株式数 100株

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求、買増請求、配当金の振込指定その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度に関するお知らせ

1.対象となる株主様

2023年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元株(100株)以上を保有していただいている株主様を対象とさせていただきます。

2.優待の内容

対象となる株主様1名につきクオ・カード1,000円分を贈呈させていただきます。



 丸尾カルシウム株式会社

〒674-0084 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地

第75期 事業報告書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

BUSINESS REPORT



証券コード：4102

 丸尾カルシウム株式会社



代表取締役社長 丸尾 治男

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
3年の長きにわたり私たちの生活に多大な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症も、本年5月の5類感染症への移行により、ようやく終息を実感できる様になってまいりました。

その間に経験した事業継続への取り組みの数々を、忘れることなく、継承してまいります。

さて、当社第75期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済につきましては、一足早くコロナウイルスと共生の道を歩み始めた欧米を中心に生産活動が活発化した結果、インフレが進行し、金融緩和の終了や急速な利上げ等、景気過熱対策へと舵が切られています。一方、中国では厳格なコロナ対策を継続した結果、景気停滞が続きました。

日本経済につきましては、経済活動は正常化に向け進み始めたものの、全体としては回復の途中であり、金融緩和と低金利政策を続けた結果、急激な円安に見舞われ、輸入製品を中心に価格が高騰し、1980年代の第2次オイルショック以来のインフレ率を経験しています。

このような経済情勢下、当社グループにおきましては、エネルギーコスト、原材料価格及び物流費の高騰に直面し、安定供給を続けるため全社をあげてコスト削減に取り組み、顧客の理解を得て、価格転嫁を進めてまいりました。

売上高は、125億94百万円(前年同期比8.9%増)と10億26百万円の増加となりましたが、損益面につきましては、営業利益33百万円(前年同期比75.7%減)、経常利益2億46百万円(前年同期比15.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億17百万円(前年同期比38.6%減)と、価格転嫁のタイムラグと中国経済の景気回復の遅れの影響を受けました。

当期の期末配当金につきましては、当期の業績並びに今後の経済環境、株主の皆様への安定配当を勘案し、一株につき30円とさせていただきます。

今後の経済見通しにつきましては、ロシアのウクライナ侵攻が続き、資源エネルギー価格の高騰、インフレ対策としての金利引き上げ、金融引き締めが巻き起こす金融不安、米中の対立等、予断を許しません。

このような情勢下、当社グループにおきましては、企業価値の維持向上のため、企業としてどうあるべきかを考えた結果、次の項目に重点を置いて経営を進めてまいります。

- ①働く人の安全・安心を確保したうえで、人材の活性化を最優先する仕組み作りを進め、直ちに運用してまいります。
- ②「品質の向上」こそが企業価値を高め、お客様の満足を得る最良の手段であることを、当社グループ全体に浸透させ、行動に移してまいります。
- ③失敗を恐れず新しいチャレンジを継続的に実行するため、若手を中心に「プロジェクトチーム」を多用して経験値を積み、生産・研究開発体制の向上を図ります。
- ④「データの見える化」を推進し、国内外で通用する世界品質の研究開発・生産・営業体制を確立します。また、2050年のカーボンニュートラルを視野に、炭酸ガス排出量低減を最優先した取り組みを続けてまいります。
- ⑤既存のお客様を大切に、その発展に資する製品を供給し続けるとともに、炭酸カルシウムの新しい価値を世界に提案し、新規分野・顧客の開拓に取り組んでまいります。

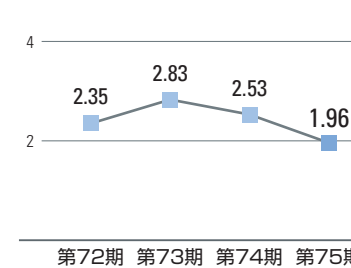
株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

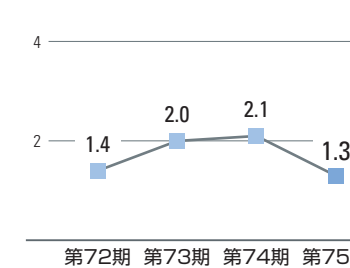
		第72期 (2019.4~2020.3)	第73期 (2020.4~2021.3)	第74期 (2021.4~2022.3)	第75期 当連結会計年度 (2022.4~2023.3)
売上高	(百万円)	11,869	10,844	11,567	12,594
営業利益	(百万円)	114	151	138	33
経常利益	(百万円)	279	306	292	246
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	117	179	190	117
1株当たり当期純利益	(円)	51.61	80.04	85.74	52.33
純資産	(百万円)	8,940	9,808	9,297	9,700
総資産	(百万円)	15,458	16,596	15,637	16,990
有利子負債	(百万円)	2,494	2,353	1,977	2,656
1株当たり純資産額	(円)	3,777.37	4,232.12	3,977.33	4,123.58

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数、1株当たり純資産額は期末発行済株式総数に基づき算出しております。なお、期中平均発行済株式総数及び期末発行済株式総数は、いずれも自己株式数を控除して算出しております。
2. 第74期連結会計年度より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、第74期連結会計年度以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値を記載しております。

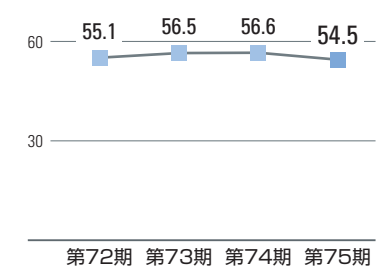
■ 経常利益率(単位:%)



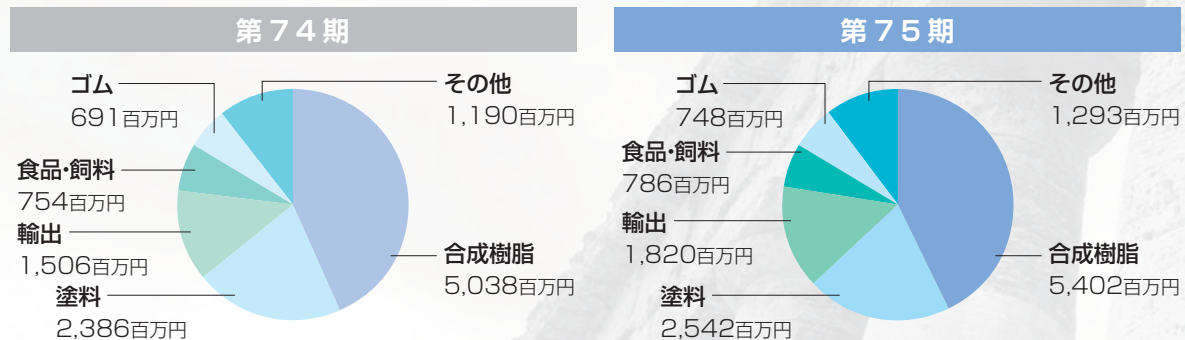
■ ROE(単位:%)



■ 自己資本比率(単位:%)

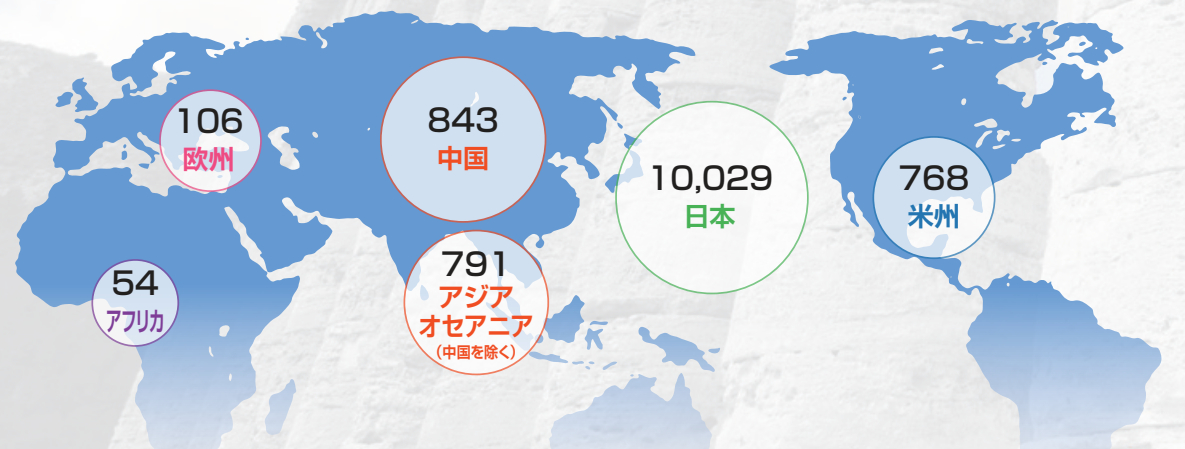


用途別売上高構成



地域別売上高構成(当期)

単位:百万円



こんなところにも・・・



炭酸カルシウムは、私たちのまわりのさまざまところで使われています。今回は炭酸カルシウムを利用して、通気性を持たせたフィルムをご紹介します。

長かったコロナ禍はようやく終息してまいりましたが、多くの医療従事者がコロナウイルスから身をまもるためにフィルム状の保護服を着用されました。その際、保護服の中を蒸れにくくするため、炭酸カルシウムを利用して微細な穴をフィルムに空け「湿気は通すが液体は通さない」通気性フィルムが使われました。また赤ちゃんの紙おむつにも通気性フィルムが使われており、オシッコを漏らすことなく赤ちゃんのお尻はいつも快適で、今では介護などの分野でも必需品となっています。

炭酸カルシウムは、地球環境や人に優しい、安全安心な素材です。私たち丸尾カルシウム株式会社は、炭酸カルシウムで皆様の大切な日常生活を陰で支えるため、これからもより一層の努力を重ねてまいります。

株式の状況 (2023年3月31日現在)

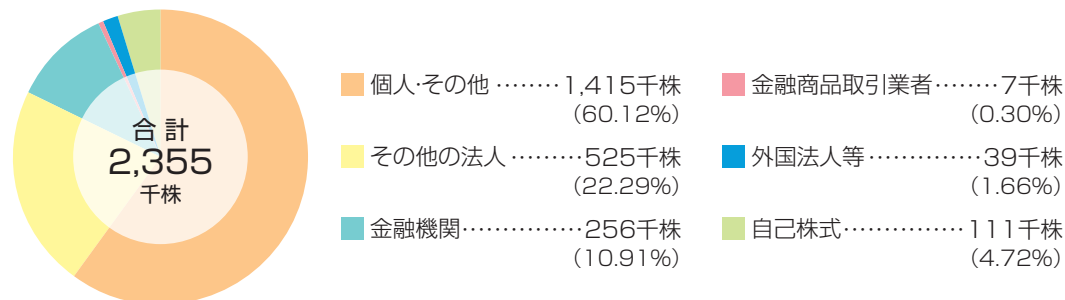
発行可能株式総数 8,000,000株
 発行済株式の総数 2,355,200株
 株主数 1,116名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中国礮業株式会社	249	11.10
丸尾治男	145	6.50
山陽化学産業株式会社	114	5.08
丸尾政雄	90	4.01
株式会社三井住友銀行	76	3.41
大同生命保険株式会社	63	2.82
損害保険ジャパン株式会社	53	2.40
丸尾カルシウム従業員持株会	48	2.16
丸尾直子	42	1.88
今井一史	39	1.74

(注) 1.持株比率は、自己株式数(111,139株)を控除して計算し、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
 2.自己株式は、上記大株主からは除外しております。

所有者別株式分布状況



会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 丸尾カルシウム株式会社
MARUO CALCIUM CO.,LTD.
 本社所在地 〒674-0084
 兵庫県明石市魚住町西岡1455番地
 創業 大正15年(1926年)10月1日
 設立 昭和23年(1948年)11月18日
 資本金 8億7,655万円
 従業員数 269名
 事業概要 炭酸カルシウム製造・販売、
 その他無機薬品販売

会社役員及び執行役員 (2023年6月28日現在)

代表取締役社長 丸尾 治男
 専務取締役 深津 秀郎
 常務取締役 森下 俊哉
 取締役相談役 今井 一史
 社外取締役 久保 眞治
 常勤監査役 谷井 通宏
 社外監査役 増田 博明
 社外監査役 石井 隆明
 執行役員 柴田 洋志
 執行役員 森 常久
 執行役員 坂口 茂
 執行役員 高垣 充

当社グループ

